

第8回

佐竹裕介先生の 音楽講座

—知っているようで知らない音楽の謎—



大作曲家深掘りシリーズ

Vol. 4

ベートーヴェン

—音楽に「オレ」を持ち込んだ男—

ベートーヴェンが「音楽にオレを持ち込んだ男」っていうことは、

ベートーヴェンが現れるまでは音楽に「オレ」はなかったの？

「オレ」のない音楽って何？ 「オレ」のある音楽って何？

音楽のあり方をまるっきり変えたのがベートーヴェン。

ベートーヴェンについて考えることは、「音楽とは何か」を考えることなのかもしれません。

2025年 **11** 月 **17** 日 [月]

開 演 14:00 (開場 13:30)

会 場 京都市北文化会館 創造活動室
京都市北区小山北上総町49-2

出 演 佐竹 裕介 講師・ピアノ
田村 安祐美 ヴァイオリン
神吉 正 コントラバス

参加費 3,000円 (全席自由・先着50名)

申 込 satakesensei8@gmail.com
初めてご予約される方は @gmail.com の受信許可設定を行ってください。

演奏曲目

ピアノ三重奏曲 第5番

ニ長調 Op.70-1 「幽霊」

(コントラバス編曲版)

チケット
取り扱い

京都市北文化会館
9:00~17:00 (火曜休館・休日の場合は翌平日)

お問い合わせ: satakesensei8@gmail.com
主催: 佐竹裕介企画委員会 X: @satakesensei





フランス革命に象徴される近代化は、人間の態度を「頭で考えたことに突き進んでOK」に変えました。この頃、西洋音楽の態度も「頭で考えたことに突き進んでOK」に変わったわけですが、そのように変えた張本人こそ、ベートーヴェンです。現代に生きる私たちにとって、ベートーヴェンが西洋音楽史の最も重要な転換点の一つであることは間違いありません。

ベートーヴェンを聴く、あるいは弾くときに感じるのはそれまでの音楽にはない新しい力強さ、あるいは美しさ。では楽譜はどうなっているのか。調べてみると、ベートーヴェンは先人の築き上げたルールをたくさん「破壊」していることがわかります。本講座では、ベートーヴェンの「破壊」が「新しい力強さと美しさ」にどう結びついているのかを考えます。ベートーヴェンの「破壊」の意味がわかれば、もしかしたら、「音楽とは何か」が少し見えてくるかもしれません。

大作曲家深掘りシリーズ ベートーヴェン Vol. 4 ー音楽に「オレ」を持ち込んだ男ー

佐竹 裕介 | 講師・ピアノ

兵庫県立長田高等学校を経て京都市立芸術大学を首席卒業。同大学院修士課程を修了。フライブルク音楽大学へ交換留学。ロームミュージックファンデーションの奨学金を受ける。森本雅子、両澤隆宏、迫昭嘉、阿部裕之、上野真、M.ロイシュナーの各氏に師事。吹田音楽コンクール、宝塚ベガ音楽コンクール、神戸芸術センター記念ピアノコンクールに入賞。京都芸術祭新人賞を受賞。京都市交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、いずみシンフォニエッタ大阪等と協奏曲を演奏。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」にソリスト及び伴奏者として出演。オーケストラ奏者としても活動し、「ペトルーシュカ」(京響、大フィル、兵庫芸文管)、「町人貴族」(京フィル)ではピアノソロを演奏。兵ブラストリオメンバー。



佐竹裕介企画委員会 メンバー

佐竹 裕介

田村 安祐美

(京都市交響楽団ヴァイオリン奏者)

神吉 正

(京都市交響楽団コントラバス奏者)



@IllustKitchen_Shimapow

～これまでの講座の様子～



会場へのアクセス



京都市営地下鉄「北大路」駅1出口すぐ
京都市バス「北大路バスターミナル」下車

次回予告！

大作曲家深掘りシリーズ

シューベルト

Vol. 5

ー歌とさすらいー

2026年6月8日開催予定

京都市北文化会館 創造活動室